

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	朝礼で介護理念の唱和をし、共有。入居者様の快適さ、地域とのつながり、働く姿勢を追及している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍ではあるが、こども園との交流が再開できた。小学校や近隣住民とも少しずつ関わられる取り組みをしていきたい。	交流が難しく途絶えていたコロナ禍だが、母も喜ぶのでそういった機会は続けてほしい。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	書面での開催が続く現状であり、いただいたご意見をもとにサービスの質の向上に努めている。	集合しての開催も検討していく。実際に対面して意見を集約するとは内容も変わってくる。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の介護相談員が2ヶ月に1回お越しになり、ホームの様子もご覧になってくださる。包括とも毎月訪問し情報共有できるよう努めている。もう少し交流を持ちたい。	地域とのつながりのため、続けていきたい。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「虐待・不適切ケアチェックシート」を3か月ごと振り返りの機会、日頃より自由な行動の支援ができる工夫を考えている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3か月に1回、ランダムで匿名の職員へ実施。面談踏まえ共有する機会が持っている。連携にもつながるのだと感じた。面会制限は、一種の拘束。弾力的な対応を期待している。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	上記同様のこと、また研修資料を会議の際に回覧し、注意喚起と防止に努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3か月に1回、ランダムで匿名の職員へ実施。面談踏まえ共有する機会が持っている。研修資料で注意していることも感じた。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	権利擁護については年1回、研修の機会を設けている。成年後見制度についてはできていない。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に契約書と重要事項説明書にてご説明、不明点等あればお伝えできるよう対応している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプラン作成の際には入居者様ご本人やご家族様より意見いただいている。毎月ホームでの様子をお便りでお送りし、運営推進会議でのアンケートにも活かしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	書面での運営推進会議にて家族より希望や意見の集約ができている。意見が出せるような体制を整えている。心身・行動の状況をよく知らせていただいている。わかりやすい。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々、挨拶から始まり、本人との話の中や朝礼での申し送りが入居者様の変化の共有、3か月に1回の面談を実施している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員各々が仕事に求めることは違いもあるので、そこを捉えた中で個々に話す機会だったりから向上心を持てる関りをしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム長との3ヶ月に1回の個人面談をしており、それ以外にも困り事や不安の解消など話す機会をつくっている。職員の明るさ・前向きさも伝わる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会社で「キャリアパス制度」というものがあり、項目をクリアすることで昇段・昇給できる仕組みを活用している。リモート研修も案内し、積極的な参加がある。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会社の制度を利用してフォローもできている。リモート研修の参加も積極的に行っている。昇給・昇格はモチベーションアップにつながる。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	まだコロナ禍で他ホームとの交流の機会も限られているが、徐々にイベントや研修で集まる機会が増えてきている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「仕事」と捉え過ぎると主観的になりやすいため、「自分だったら？」と客観的な視点も持てるよう伝え、ケアに活かしている。			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	対面での面会が再開となり、まだ制限もある中だが、直接お会いしてお話できることは入居者様ご本人も喜ばれる。	面会の制限が厳しくならないことを祈る。顔が見れて話ができるのはうれしいこと。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が望むこと(ニーズ)を毎月の会議で話し合っている。そのニーズが達成できるよう、日々の取り組みに努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケアプランが実践できているかの評価、毎日の記録を振り返り、ホームでの生活の役割や機能維持の取り組みを見直している。	個々の趣味や特技、手伝いなど本人が望むことができる支援をしていきたい。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントシートからケアプラン、モニタリングなどシート類を保管。月1回の会議での話し合いもできている。変化に対応、共有し実践していくことが大事。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気づきの重要性、早期解決により状態悪化を防ぐことを伝えている。申し送りにて共有もしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントシートからケアプラン、モニタリングなどシート類を保管。月1回の会議での話し合いもできている。次に活かしている。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ここでのやり方を「当たり前」と捉えず、他の事業所の取り組みなど参考にしながらケアの質の向上に努めている。	視点は必ず入居者様ひとりひとりに向けたケアを続けてほしい。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	包括含め、地域でのホームの価値を高めていく。保育園や小学校との交流も行っていく。	なかなか接することがない子供達との交流を楽しみにしている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本、ホームでの往診の形だが、必要時の受診には主治医への相談・指示のもとご家族さまにも連絡したうえで対応している。			診療レポート、いつもありがとうございます。しっかり見させていただきます。

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院の相談員とは主にホーム長がその方の状態を確認したうえで治療方針にもよるが早期退院を進めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時の情報提供を行っている。情報は更新されている。病院関係者との関係作りも行っている。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変もあつたりと状態変化は高齢にもなるとリスクは高まってくることも考慮し、日頃から気付きを大事に、できる限りホームでの生活が続けられる支援をしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化の指針も家族へ説明、了承している。往診医との家族面談も定期的に行っている。ご家族も安心かと思う。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変マニュアルも各ユニットにあるが、連絡系統は体制が整っている。訓練として窒息・嘔吐・出血など学ぶ機会が必要。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の消防訓練の実施、防災マニュアルにて対応方法は周知している。それがいざのときに活かせていかないといけない。	万が一に備え、対応ができるようにしていただけるとありがたい。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアル、消防訓練の他、備蓄品や災害物品の確認をしている。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	高圧的な言葉遣いをしないこと、視線を合わせること、行動を制限しない動きを職員に指導している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人面談や日々の会話からでも注意喚起されている。配慮が感じられる。生活スタイルに合わせた配慮に感謝する。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	どの時間帯にこういった言動が起こりやすいのか、なぜそれが起こるのか、をデータからも追及して安心の提供ができるよう指導している。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事形態も考え、その人その人が食べやすい工夫をしている。食の楽しみは損なわず、調理関係の家事手伝いももう少し職員に頼らず行っていけるようにしたい。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食札も活用。調理を入居者様と一緒に作れる機会を増やせるよう検討中。個のADLに合わせた支援をされている。

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量・水分量は記入漏れのないようにし、数値化することで把握ができています。少ない方にはどうしたら摂取できるかの工夫も考えています。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自身でできない方には介助を含め口腔衛生の維持と肺炎予防の観点からもしっかり対応していく。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎週の訪問歯科でも希望者は口腔状態の確認と指導がなされている。日々のチェックも必要。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	データで排泄リズムを把握し、時間での誘導や起き出しのタイミングも気を付けている。薬に頼らず食事・水分からも便秘予防につなげる。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	電子記録にてデータ化された排泄や食事水分など職員も共有・確認できている。こまめな水分摂取のケアもお願いします。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々の意向や時間帯も考慮したうえで対応している。浴室と脱衣所の寒暖差にも注意している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中の休養、夜間の就寝など個々の希望に対応できるようにしている。空調や布団類も気遣えるようにして、日中の活動からも安眠の工夫をしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ミスのないよう、服薬マニュアルの徹底をしている。作用副作用も理解したうえで主治医と相談を続けている。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルの徹底、ダブルチェックや色分けなど事故防止にも努めている。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で外出支援は未だできていないが、近くの散歩や外気浴、室内レクなどで楽しみを提供をしている。	散歩でもドライブでも、気分転換は大事だと思う。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ドライブにもあまり行けていない。上記のような対応と、地域交流の機会を設けていく。	家族も同伴しての外出ができる日を望んでいる。		戸外へ出かけられるときはお手伝いをしたい。

		人々と協力しながら出かけられるように支援している					
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	金銭管理は基本、事務所でやっている。家族の承諾もあり少額個人でお持ちの方もいるが、使える支援を職員側が拒むことはしていない。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人で携帯電話をお持ちの方もいらっしゃる、自由に使える環境である。必要時には固定電話やホームの携帯電話で取り次いでお話されている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節感のある装飾・衣類の選択、カレンダーで日付がわかったりどうしても中にいるとわからなくなりがちなこと工夫してイベントでも楽しんでいただいている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	レクで作成した作品、季節の行事での装飾もあり、明るい雰囲気を感じられる。季節に応じた飾りつけは大切なことだと思う。	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの方のニーズを出来るだけ多く叶えられるよう、ケアプランでも提示し職員間でも対応している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時の情報、本人やご家族からお聞きしたことも基に、個々に合わせたケアをしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週1回の訪問看護、隔週月2回の訪問診療にて相談している。状況の変化に応じて24時間体制で連絡できる体制も整っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	往診医や訪看とも定期的に情報交換が行えている。	

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自宅での生活と比べると環境も違う部分もあるが、1日のペースだったり習慣は継続できる支援をしている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	生活に少しでも安心できる環境として、使い慣れた衣類や思い出の品を持参していただけるようご家族に協力いただいている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	使い慣れたタンスなどの家具、仏壇を持ち込まれている方もいる。入居時に家族に相談している。馴染みの環境整備は大切なこと。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	散歩や外気浴では対応が可能だが、人が集まるような場所には行けていない。	家庭内のことでも、集まれる機会にご理解いただきたい。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	決まった役割はすでにあり、継続することと、新たな取り組みにもスタッフが行うのではなく入居者様とともに行っていく。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	活動時、会話でも、食事・入浴などでも安心と快適さを感じていただけるよう関わっている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎月のお便りやブログの様子から明るく笑顔な様子がわかる。ご利用者ファーストであることが安心と快適さにつながる。久しぶりに見た母の顔が明るくなっていた。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	少しずつ地域交流の機会を設けることで、地域との関わりが持てるようにしていく。	刺激やメリハリのある生活を送ってほしい。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	「ここに居られて幸せ」。職員にとっても非常にうれしいお言葉です。歴史と伝統のある甲府後屋ですが、引き続きより良いホームとなれるよう取り組んでいきます。	細かな報告から、日常を知れることもできて安心感がある。本来であれば外出や外泊もしたいので我慢せざるを得ないこともあるが、ここでいて幸せならありがたい。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員全員がマニュアルや電子記録を活用して入居時様により良いケアを提供する体制や姿勢がわかった。満足されて生活されている様子がうかがえ、感謝している。本当に良いホームだと思う。入所期間が短いとまだ心底楽しめていないかと思う。